

授業科目 物理学の世界

【担当教員名】 大鍋 寿一、江原 義弘	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GI0】
福祉機器を開発・製造・評価・使用する上で必要な力学を学ぶ。
専門用語の英語に慣れる。

- 【学習目標】
1. 物体の速さと運動が説明できる。
 2. 力による現象が説明できる。
 3. 力と運動の関係が説明できる。
 4. 力学的エネルギーについて説明できる。
 5. 国家試験の力学の問題が解ける
 6. 専門用語について英語で表現できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、位置、速度、加速度	1, 6	講義と質疑応答、演習
2	位置、速度、加速度	1, 6	講義と質疑応答、演習
3	物体に働く力	2, 6	講義と質疑応答、演習
4	物体に働く力	2, 5, 6	講義と質疑応答、演習
5	等加速度運動	3, 6	講義と質疑応答、演習
6	等加速度運動	3, 6	講義と質疑応答、演習
7	摩擦力	3, 6	講義と質疑応答、演習
8	放物運動	3, 6	講義と質疑応答、演習
9	仕事とエネルギー	4, 6	講義と質疑応答、演習
10	仕事とエネルギー	4, 5, 6	講義と質疑応答、演習
11	力学的エネルギー保存則	4, 6	講義と質疑応答、演習
12	力積と運動量	4, 6	講義と質疑応答、演習
13	物体の衝突	3, 5, 6	講義と質疑応答、演習
14	円運動と単振動	3, 5	講義と質疑応答、演習
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	大学生なら知っておきたい物理の基本[力学編]	為近和彦	中経出版	2009・1,800円
その他の資料	板書, プリント, Power point を使用			

【評価方法】 臨時試験：40% 達成度確認試験：40%、学習態度：20%	【履修上の留意点】 問題解決能力だけでなく、課題発見能力に力をいれるので、積極的に質疑応答に参加
--	---